

■ 株主メモ

| | |
|---------------------------|--|
| 証券コード | 7716 |
| 事業年度 | 1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年3月 |
| 株主確定基準日 | 定時株主総会議決権行使 12月31日 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日 |
| 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル) |
| 公告方法 | 当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 JASDAQ スタンダード |
| お知らせ | <ul style="list-style-type: none">● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。● 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。● 「配当金計算書」について 配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料として使用頂くことができます。確定申告をされる株主様は大切に保管ください。 ただし、株式数比例配分方式をご選択頂いている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。 |

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

創業以来、当社は歯科医療分野において「超高速回転技術」をコアとした革新的な製品を世に送り出してきました。さらにこのコア技術を活用して、一般産業分野や外科医療分野へと事業領域を拡大させてまいりました。「世界初」「世界最高」の製品をお届けする努力を続けてきた結果、各事業分野で着実に成長して行くことができました。

「高い製品力」「格調の高い洗練されたデザイン」「絶対的な高い品質」「スピーディーで独創的な開発力」「高いコスト競争力」「強固なグローバル販売網」「ファーストクラスのアフターサービス」など、グローバルNo.1にふさわしい体制を構築すべく、これからも社員一丸となり、全力を挙げて取り組んでまいります。

当社は本年、創業88周年を迎えることができました。これも偏にお客様や株主様をはじめ、関係各位からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。会社が生まれて88年。人であれば長寿と家門の繁栄を慶ぶ「米寿」にあたり、また、未広がりを示す「八」が並び、大変縁起の良い年であると考えております。

このような節目の年を迎えるにあたり、当社の持続的な成長を実現するための事業基盤として、新本社R&Dセンター「RD1」と新工場「A1」が、それぞれ力強く立ち上がりました。当社の開発および生産活動の質・量・スピードは飛躍的に向上していくものと確信しております。

株主の皆様には、今後とも当社の成長にご期待頂くとともに、より一層のご理解とご支援を賜ります様お願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員
中西 英一




2018年上半期の業績について

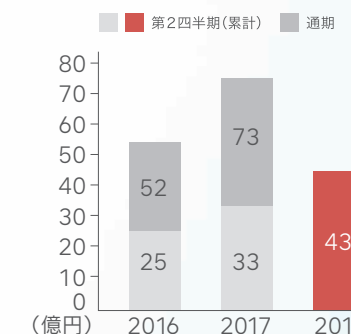
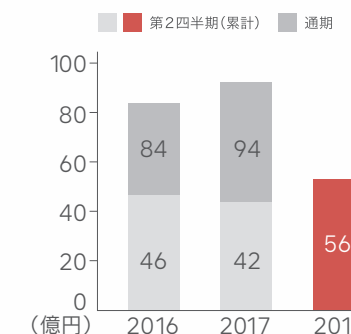
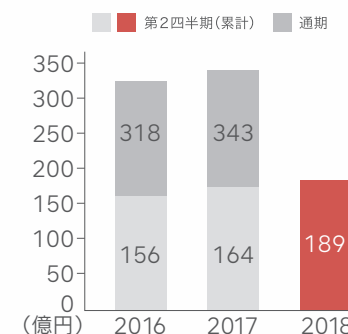
当上半期は、引き続き堅調な需要に支えられ、歯科製品関連事業、工業製品関連事業ともに堅調に推移し、売上高は前年同期比14.9%増の189億円となりました。

営業利益は、人件費のほか、新本社R&Dセンター「RD1」や新工場「A1」関連費用が増加したものの、増収に伴う利益増でこれを補い、前年同期比34.0%増の56億円と、大きく伸ばしました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益が大幅に伸ばしたことから、前年同期比32.1%増の43億円となりました。

歯科製品関連事業では、滅菌需要を捉えた国内市場が前年同期に比べ40%以上も増収となったほか、欧州も二桁増収となりました。それ以外の地域も順調に推移した結果、売上高は162億円(前年同期比+15.1%)となりました。

工業製品関連事業では、欧州およびアジア市場が前年同期に比べ30%以上も増収となったほか、主力である国内市場も順調に推移し、売上高は19億円(前年同期比+14.9%)となりました。



歯科製品関連事業の概況について

主力のハンドピース、インプラント関連、予防歯科関連および訪問歯科診療関連製品の拡販と、世界的なブランディング、アフターサービスの強化に努めた結果、当上半期の歯科製品関連事業の業績は堅調に推移しました。地域別の概況は次の通りです。

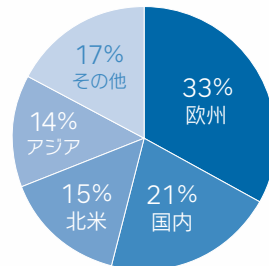
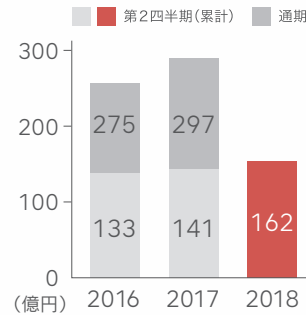
【欧州】 欧州の売上高は前年同期比17.8%増収となりました。主要展示会への出展等、積極的なマーケティング活動の継続によって各現地法人の販売が堅調となったほか、OEMビジネスも好調に推移しました。

【国内】 国内の売上高は前年同期比41.8%増収となりました。平成30年の診療報酬改定で院内感染防止対策に関する施設基準が新設されたことを受け、ハンドピースおよび滅菌機の販売が大きく伸びました。OEMビジネスも前年同期並みに推移しました。

【北米】 北米の売上高は前年同期比1.0%減収となりました。メーカー在庫調整のためOEM製品が軟調となりましたが、積極的なマーケティング活動が寄与した自社ブランド製品の販売がこれを下支えしました。

【アジア】 アジアの売上高は前年同期比8.5%増収となりました。中国向けの販売が伸び悩んだものの、韓国や東南アジア各国への販売が伸びました。

【その他】 その他の地域の売上高は前年同期比6.1%増収となりました。前期に販売が大きく伸びたロシアでは需要一巡による反動減があったものの、中東の需要が復調したほか、南米やオセアニアが好調に推移しました。



歯科製品関連事業
2018年度第2四半期
地域別売上高比率

工業製品関連事業の概況について

超微細加工を実現する当社の小径・高速スピンドル製品へのニーズは強く、自動車関連メーカーを中心としたお客様への販売が順調に推移しました。主力である国内市場が堅調に推移したほか、欧州、アジア向けの販売が前年同期比30%以上の増収と大きく飛躍しました。

下半期は JIMTOF(国内最大級の工作機械見本市)への出展、超精密加工にフォーカスした提案営業を引き続き推進していきます。

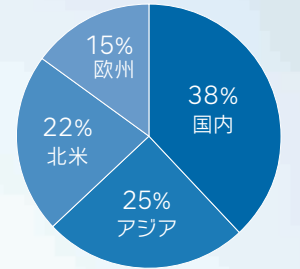
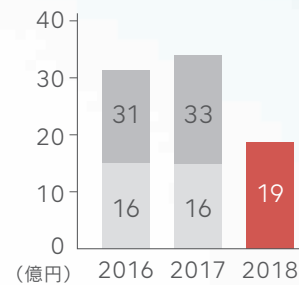
今後も他社の追随を許さない製品の開発、生産能力の増強に努め、オンリーワンスピンドルメーカーとして、さらなる市場拡大に努めてまいります。

2018年度の業績予想について

通期の業績予想は、2018年2月9日に公表しました予想値から変更なく、売上高は前期比3.7%増の356億円を見込んでいます。

また、営業利益につきましては、新工場関連の費用増や為替変動による利益押し下げを見込むものの、増収に伴う利益増や新工場「A1」稼働による生産性向上効果等により、前期比1.0%増の95億円を見込んでいます。

なお、2018年度業績予想の前提となる為替レートは1USD=105円、1ユーロ=120円としています。



工業製品関連事業
2018年度第2四半期
地域別売上高比率

2018年度 業績予想

| 売上高 | 営業利益 | 親会社株主に 帰属する当期純利益 |
|--------------|--------------|---------------------|
| 356億円 | 95億円 | 69億円 |
| 前期比 3.7%増 | 前期比 1.0%増 | 前期比 5.9%減 |

想定為替レート

| 1USDドル | 1ユーロ |
|--------|------|
| 105円 | 120円 |

新工場「A1」稼働中

栃木県鹿沼市にある宇都宮西中核工業団地に建設した新工場「A1」が2018年3月1日に竣工を迎えたのち、まもなく本社工場棟からの工作機械移設を開始しました。当初予定していた移設期間を前倒しながら、一つの事故もなく生産移管が完了し、3月末からは通常の生産活動を再開することができました。

歯科製品関連事業と工業製品関連事業がそれぞれ好調に推移する中、市場の旺盛な需要に的確に応え続け、企業として中長期的な成長を遂げていくために、この新工場「A1」を中核生産拠点と位置づけ、生産効率および品質のさらなる向上を目指してまいります。



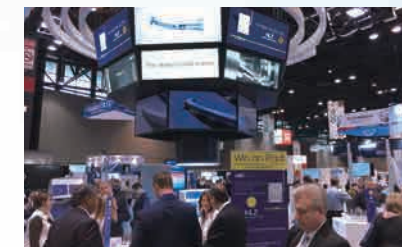
世界各国において積極的なマーケティング活動を推進

歯科医療分野のお客様および流通関係者の皆様に向けたブランディングと、当社製品のアピールのため、世界各国で開催される歯科関連展示会に積極的に出展しています。

当上半期においても大小多くの展示会に出展し、来場者の方々に「NSK WORLD」の体験を通じたブランディングとファン化を推進しています。下半期には「ワールドデンタルショー（東京）」が、2019年には隔年で行われる世界最大規模の歯科展示会「International Dental Show（ドイツ）」が、それぞれ開催される予定です。これらの展示会を積極的に活用し、グローバルシェアのさらなる拡大を図ってまいります。

■ 米国

2018年2月にシカゴで開催された北米最大級の展示会「CDS Midwinter Meeting」に大規模ブースを出展しました。北米市場では、ハイエンド製品市場の一角を担っていますが、競合他社との競争は激しさを増しています。そのような中、積極的なマーケティングを推進してきており、市場シェアは着実に高まってきています。



CDS Midwinter Meeting (米国)

■ スペイン

隔年開催のスペイン最大の展示会「Expodental」が2018年3月、マドリードで開催されました。当社出展ブースには常に多数の来場者が詰めかける状況となり、大盛況のうちに幕を閉じました。スペインの売上高は大きく伸びました。



Expodental 2018 (スペイン)

■ ブラジル

南米最大規模の経済圏を有するブラジルにおいて有力展示会の1つである「CIOSP」に出展しました。ブラジルでは2013年に設立した現地法人が中心となって強固な販売網を構築しています。売上規模も順調に成長してきたことから、当上半期に現地法人を連結子会社化しました。



CIOSP 2018 (ブラジル)

88周年記念イベント

創業者の中西敬一が東京市神田区豊島町(現・東京都千代田区東神田付近)の地に、当社の前身となる「中西製作所」を設立してから、本年で創業88周年を迎えました。これまでご支援頂いてきた関係各位への心からの感謝と、今後さらなる成長を遂げていく決意をお示しすべく、創業88周年記念イベントを開催することに致しました。



■ 歯科海外事業・88周年記念イベント

現在、世界135カ国以上に当社製品が流通しています。全世界に広がる強固な販売網を担っている世界14カ所に及び海外現地法人と、世界各地の販売代理店様に感謝の意をお示しすべく、総勢約150名様をご招待の上、10月23日に歯科海外事業・88周年イベントを開催します。新本社R&Dセンター「RD1」と新工場「A1」のお披露目を通じて、NSKブランドの向上と、さらに強固なパートナーシップの構築を図ってまいります。

■ 歯科国内事業・88周年イベント

日本全国におよぶ販売店様、総勢約150名様をご招待し、10月31日から11月1日にかけて歯科国内事業・88周年記念イベントを開催します。当社事業において、国内市場は、欧州、北米に並ぶ最重要市場となっています。足元で好調に推移している国内市場の日々の販売活動を支援頂いている販売店様をお招きして、ナカニシの更なる飛躍の可能性をご理解頂き、事業成長に向けた基盤固めを図ってまいります。

■ NSK Symposium 2018

『Peri-implantitis(インプラント周囲炎)』の著者で、歯周病、特にインプラント周囲炎の世界的権威であるStefan Renvert教授をお招きして“誰もが知っておかなければならないインプラント周囲病変の真実”をテーマに、11月25日、新本社「RD1」のセンターコートにて「NSK Symposium 2018」を開催します。日本全国から歯科医師・歯科衛生士の皆様約300名にご参加頂く予定です。歯周病変の外科的再生治療や新しい治療法を含む国内外の最新情報を発信し、歯科医療業界における当社のプレゼンス向上を目指してまいります。

名誉会長 中西崇介が旭日小綬章を受章

平成30年春の叙勲において、名誉会長 中西崇介が「旭日小綬章」を受章致しました。

旭日章とは明治8年に制定された勲章で、経済発展に大きく寄与した企業、国際的に高い評価を得た企業、特に優秀な技術を持つ企業の最高責任者等に与えられるものです。中西崇介は社長・会長時代を通じて、時代を先取りした「世界初」の機能を持つ製品、歯科医師の真のニーズを的確に捉えた製品を次々と世に送り出し、世界市場から高い評価を受けました。今日のナカニシの礎を築いたこと、そして、事業拡大に伴う地域の雇用拡大・経済発展に大きく貢献したことが認められ、今回の受章となりました。



第2回 ナカニシライジングイベントを開催

ナカニシライジングイベント(NRE)は、従業員の文化的な素養を高めること、地域住民の方々もご招待し、地域社会と当社と一緒に「ライジング=上昇し続ける」ことを目的に、各分野の第一線で活躍されている文化人をお招きして新本社R&Dセンター「RD1」で開催しています。昨年開催した第1回NREには、能楽師の大倉正之助氏にご出演頂き、従業員やそのご家族、地域住民の方々、総勢約500名様にご参加頂き、大盛況のうちに閉幕しました。

本年12月9日に開催予定の第2回NREでは、ワイン業界において非常に名声高い「マスター・オブ・ワイン」に認定され、日経ビジネス「次代を創る100人」にもノミネートされた大橋健一氏をお招きして、「これからのワイン業界・市場を楽しむための新たな視点」をテーマに講演会を開催する予定です。



株主還元について

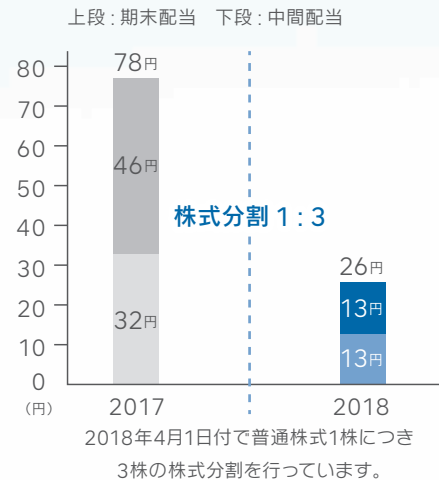
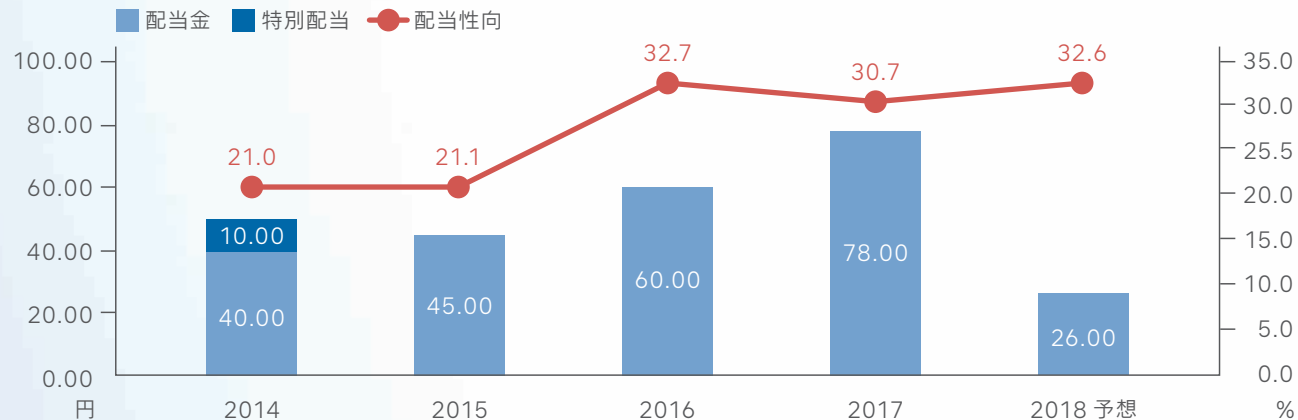
2018年度中間配当実績

株主の皆様への利益還元は当社の重要な経営課題であり、当社では業績動向や事業展開に対応するための内部留保等も勘案し、安定的かつ継続的な配当を基本方針としております。2018年度につきましては、連結配当性向30%の基本方針を堅持し、中間配当は期初の計画通り、1株当たり13円とさせていただきます。

2018年度期末配当予想

期末配当につきましては、期初の計画通り13円を予想しております。中間配当を合わせた年間配当は計26円となる見込みです。

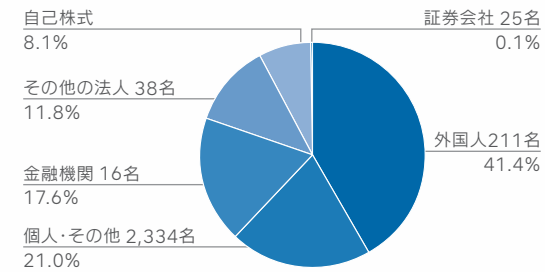
1株あたり年間配当金・配当性向の推移



株式の状況 (2018年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 375,000,000株
- 発行済株式の総数 94,259,400株
- 株主数 2,625名

株式分布状況



大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|------------------------------|---------|------|
| ステートストリート バンク アンド トラスト カンパニー | 5,283千株 | 6.1% |
| ナカニシE&N株式会社 | 4,530千株 | 5.2% |
| 中西崇介 | 4,291千株 | 5.0% |
| 中西千代 | 4,291千株 | 5.0% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 3,579千株 | 4.1% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 3,561千株 | 4.1% |
| ザ チェース マンハッタン バンク 385036 | 3,444千株 | 4.0% |
| 株式会社オフィスナカニシ | 3,120千株 | 3.6% |
| ジエービー モルガン チェース バンク 385632 | 2,917千株 | 3.4% |
| 中西英一 | 2,814千株 | 3.2% |

(注) 1. 当社は、自己株式を7,614千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

会社概要 (2018年6月30日現在)

社名 株式会社ナカニシ
 設立 1951年2月
 代表者 代表取締役社長執行役員 中西英一
 資本金 867,948,542円
 従業員数 1,073名(連結)
 本社 栃木県鹿沼市下日向700番地
 事業所 東京事務所
 大阪事務所
 モスクワ事務所(ロシア)
 主要関係会社 NSK-America Corp.(アメリカ)
 NSK Europe GmbH(ドイツ)
 NSK France S.A.S.(フランス)
 NSK United Kingdom Ltd.(イギリス)
 NSK Nakanishi Dental Spain S.A.(スペイン)
 NSK Oceania Pty. Ltd.(オーストラリア)
 NSK Shanghai Co.,Ltd.(中国)
 Dental X S.p.A(イタリア)
 NSK Dental Korea Co.,Ltd.(韓国)
 NSK America Latina Ltda.(ブラジル)
 主要取引銀行 足利銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行

役員
 代表取締役社長執行役員 中西英一
 代表取締役副社長執行役員 中西賢介
 取締役常務執行役員 松岡薫
 取締役 野瀬裕二
 取締役 鈴木布佐人
 常勤監査役 豊玉英樹
 監査役 染宮守二
 監査役 澤田雄二

(注) 1. 取締役 野瀬裕二及び鈴木布佐人は社外取締役です。
2. 監査役 豊玉英樹、染宮守、澤田雄二は社外監査役です。